

平成30年3月14日

保護者 様

夜久野学園
校長 曾根 肇

学校評価について（お知らせ）

早春の候 保護者の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、学園の教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力をいただいておりますこと深く感謝申し上げます。

さて、3月9日に学校関係者評価委員会（学校評議員5名）を開催いたしました。そこで皆様にお世話になった保護者アンケートや児童生徒アンケートをもとに、学校職員全員で行った学校自己評価についてご審議いただきました。その結果をお知らせします。このご審議いただいた内容については来年度の学校の取組に活かしてまいります。アンケート等にご協力いただきありがとうございました。

記




1 自己評価と学校関係者評価の結果

（A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分）

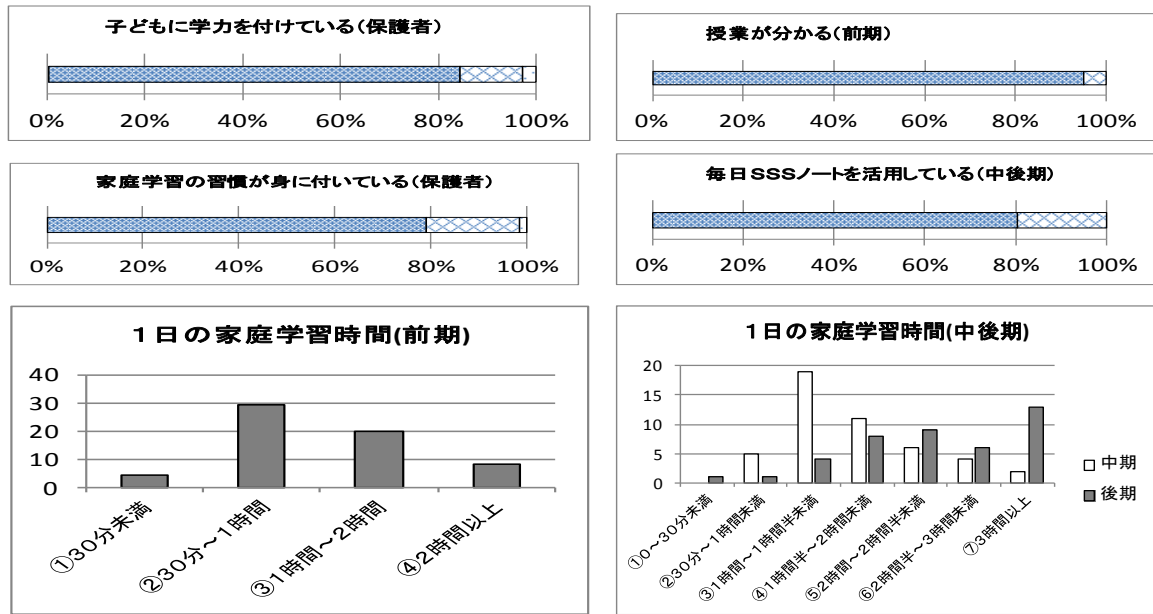
項目	学校評価の項目	学校自己評価	学校関係者評価
1	基礎的基本的な学習内容を確実に定着させている	B	B
2	ことばの力を育み、思考力・判断力・表現力を育成している	B	B
3	福祉活動・ボランティア活動を通して、豊かな心を育てている	B	B
4	いじめや差別のない環境を作り、安心な学校を作っている	B	B
5	児童生徒会活動などを通して、子どもの主体性を育てている	B	B
6	様々な運動の取組を通して、子どもに体力を付けている	B	B
7	登下校指導、防災教育等を通して、安全教育を推進している	B	B
8	小中一貫教育校として自校の教育や取組・子どもの様子などを、多様な方法で知らせている	B	B
9	全教職員で全児童生徒を指導している	B	B
10	ふるさとを愛し、ふるさとの未来を大切に思う子ども達を育成している	A	A

2 学校自己評価について

保護者アンケート、児童生徒アンケート等を参考に、職員で教育反省を行い、学校自己評価をしました。各項目については以下のとおりです。

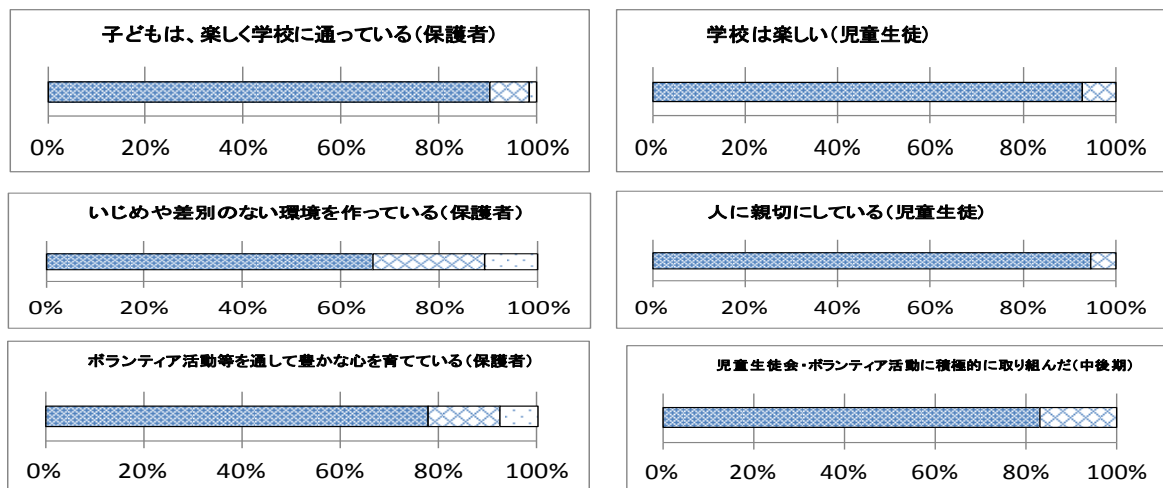
※グラフの凡例（  肯定的回答  否定的回答  わからない）

項目1と項目2について



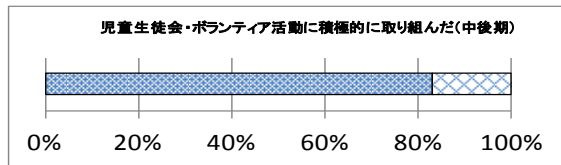
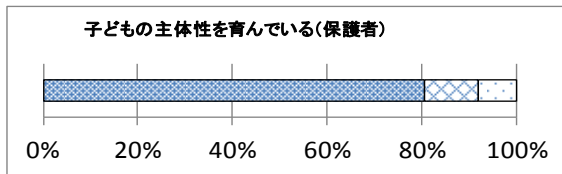
アンケートや各種学力テストの結果からも子どもたちは概ね力を付けていると言えます。中学校の定期試験時に「家庭学習強化週間」として取り組んだ結果、各学年で家庭学習が習慣化し、学習時間も伸ばしている子どもたちが増えています。また、2学期以降、全校で「自主学習」に取り組み、代表ノートを全校掲示することで内容もよいものになってきています。今後は学習に困り感を持っている子どもたちへの個別指導に力を入れるとともに、「伝え合う活動」を授業や様々な教育活動に積極的に取り入れて、考え・表現する力を高めていきます。

項目3と項目4について



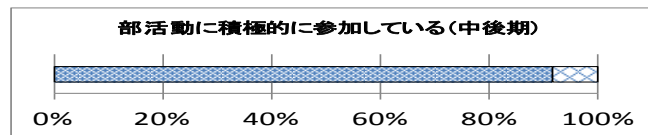
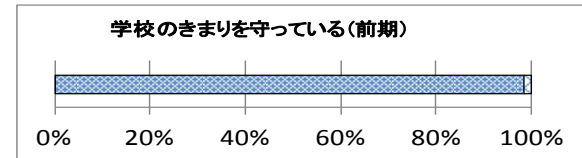
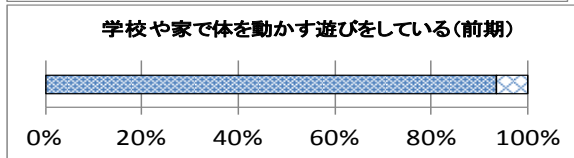
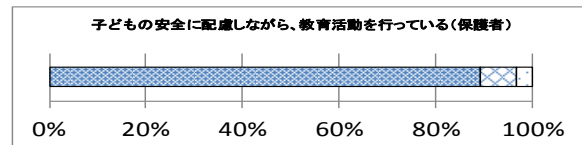
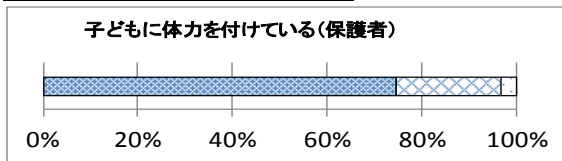
「学校は楽しい」と答えている児童生徒がほとんどですが、少数の子どもが学習への困り感や負担感を理由に「楽しくない」と感じています。学習指導や教育相談をていねいに行っています。今年度も日常の教員の観察や毎月絆アンケートを実施し、児童生徒の困り感を早期発見、対応しました。今後も道徳教育や人権教育の充実を図り、人権を大切にされた学級経営を進め、あらゆる教育活動を通して好ましい人間関係づくりに努めていきます。本校の特色である震災学習を通して学んだことを実践し、児童生徒会を中心に被災地支援の活動を広げていきました。今後も福祉・ボランティアなど社会貢献の意識を高め、前に踏み出せる子どもたちを育てていきます。

項目5について



子どもたちは児童生徒会活動や文化祭や体育祭等の行事に主体的に取り組み、達成感を感じています。しかし、さらに子どもたちがすべての教育活動に主体的に課題意識を持つ指導を一層工夫することが必要であると考えています。今後も、子どもたちが「自ら考え」「チームで働き」「前に踏み出す」よう工夫し、指導していきます。

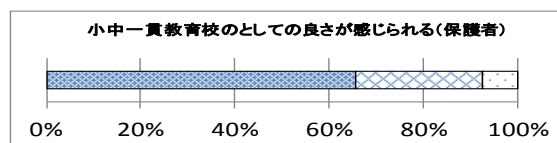
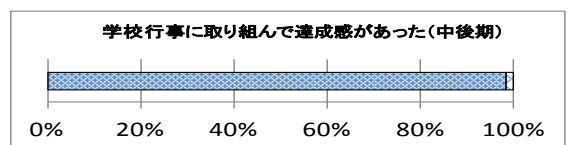
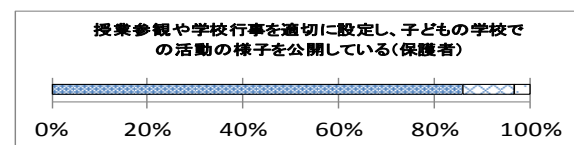
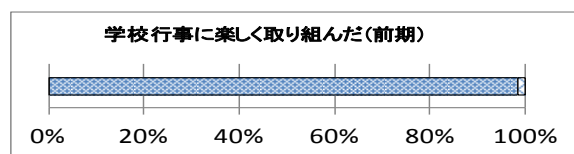
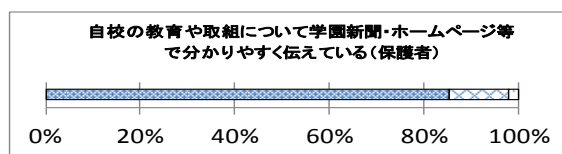
項目6と項目7について



1学期実施の体力テストの検証では、全国や府に比べ体力が低下している傾向が見られます。今後は、体育祭・マラソン大会のほかに日常的に体力向上に繋がる取組を進めていきます。

安全教育については、避難訓練をはじめとする防災教育や交通事故・犯罪等から身を守るための教室を実施してきました。第2回の学校保健会では各家庭及び児童生徒の感染症予防の意識が高く、インフルエンザを早期に抑え込むことができたことと評価いただきました。低温注意報、積雪の中も毎朝、安全見守りをお世話になり、子どもたちが事故なく登下校できたことに感謝申し上げます。今後も子どもたちの規範意識や危険予知能力を高めるよう指導していきます。

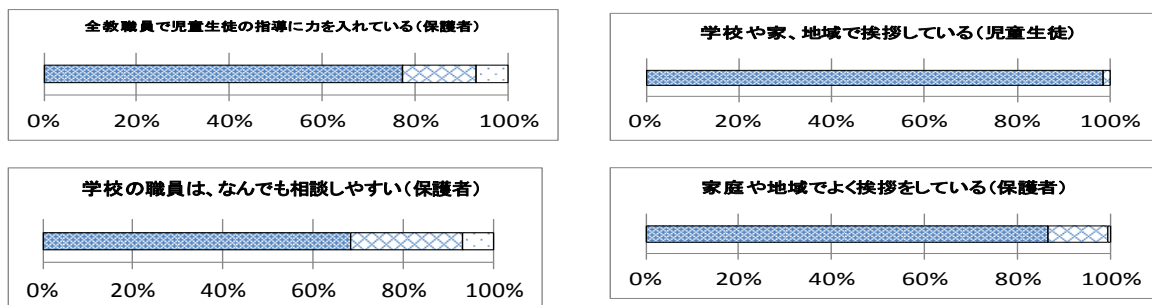
項目8について



子どもたちの学校行事への満足度や達成感は非常に高い結果です。保護者のご意見には小中学生が一緒に取り組むことに課題を感じるご意見もいただいておりますが、9年間を見通したキャリア形成を図る取組として、リーダーシップとフォロアーシップを適切に指導していきたい

と考えています。児童生徒のアンケートでは、小中一貫教育校のよさとして後期学年のリーダーシップが全学年の大きな安心に繋がっていました。今後も学園新聞やホームページ、学級通信等でいきいきと活動する子どもたちの姿を発信していきます。

項目9と項目10について



全教職員の指導については、指導の基準を学園全体で共有し、一人一人の子どもの変化を捉え、全児童生徒を一緒に見守り、育てていくことについて、さらに意識を高め徹底していきます。

挨拶については、年々子どもたちの意識は高まっています。児童生徒会を中心に「大きな声で」「子ども同士で」「地域の方へ」を次のステップとして一層の定着を図っていきます。

3 アンケート記述回答より

地区運動会や参観日の設定についてご意見をいただきました。このことについては、30年度のPTA本部役員の方々と協議の上、計画を立てていきます。

部活動については、年度末のPTA総会でも報告させていただきましたように、今後の生徒数の推移に基づいて、保護者の方にもご意見をいただきながら再編成を行っていくことを検討してきます。

教科指導については、日々研鑽を積み、校内で相互に授業公開などを行ったり、外部研究会に参加したりして授業力を磨いていきます。

バスの運行については、その都度管理会社に伝え、安全走行について業務改善を行っていきます。

4 学校評価を受けて

学校関係者評価委員会では、1年生～9年生の授業を参観していただき、「すべての児童生徒が落ち着いて学習に取り組んでいる。」「子どもたちが自分の考えをしっかりと発表して学習に取り組んでいる。」など大変嬉しい言葉をいただきました。

学園5年目を終えようとする今、全ての児童生徒が真剣に学習に向かう姿や自分の考えや感じたことを大勢の前で積極的に伝え合おうとする力が着実に育ってきていること、また、ふるさと夜久野について地域の方から学ぶ様々な学習経験を通して、8年生の「夜久野未来予想図」に代表されるように、ふるさとへの愛着を深めていく子どもたちの姿を地域の皆さまにも高く評価していただき、教職員も手ごたえを感じていることをお伝えしました。

最後に、英会話コミュニケーション科及びICT教育など夜久野ならではの教育活動等を積極的に発信していくことに一層取り組むようにとご意見をいただきました。

学校評価を受け、今後も全人格教育を目指して、学力向上、豊かな心の育成、体力の向上を図るよう教職員全員で指導していきます。保護者の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。